

研究概要

ために保健体育，技術・家庭，特別活動の授業時間を下限で設定している。平成5年度の学習指導要領の全面実施を受けて，週2時間以上の選択教科を設定している学校が6%から58%と増加した。

(2) 選択教科の種類

選択教科の種類については，第2学年では，学習指導要領に示されている教科を設定している学校が，平成4年度では56%であったが，平成5年度では18%に減少している。教科の中で複数にコース分けをしたり複合教科でコースを設定したりする学校が44%から82%に増加した。これは生徒の多様な選択の希望に対応しようとするために増加したと思われる。

表7 選択教科設定の種別 (%)

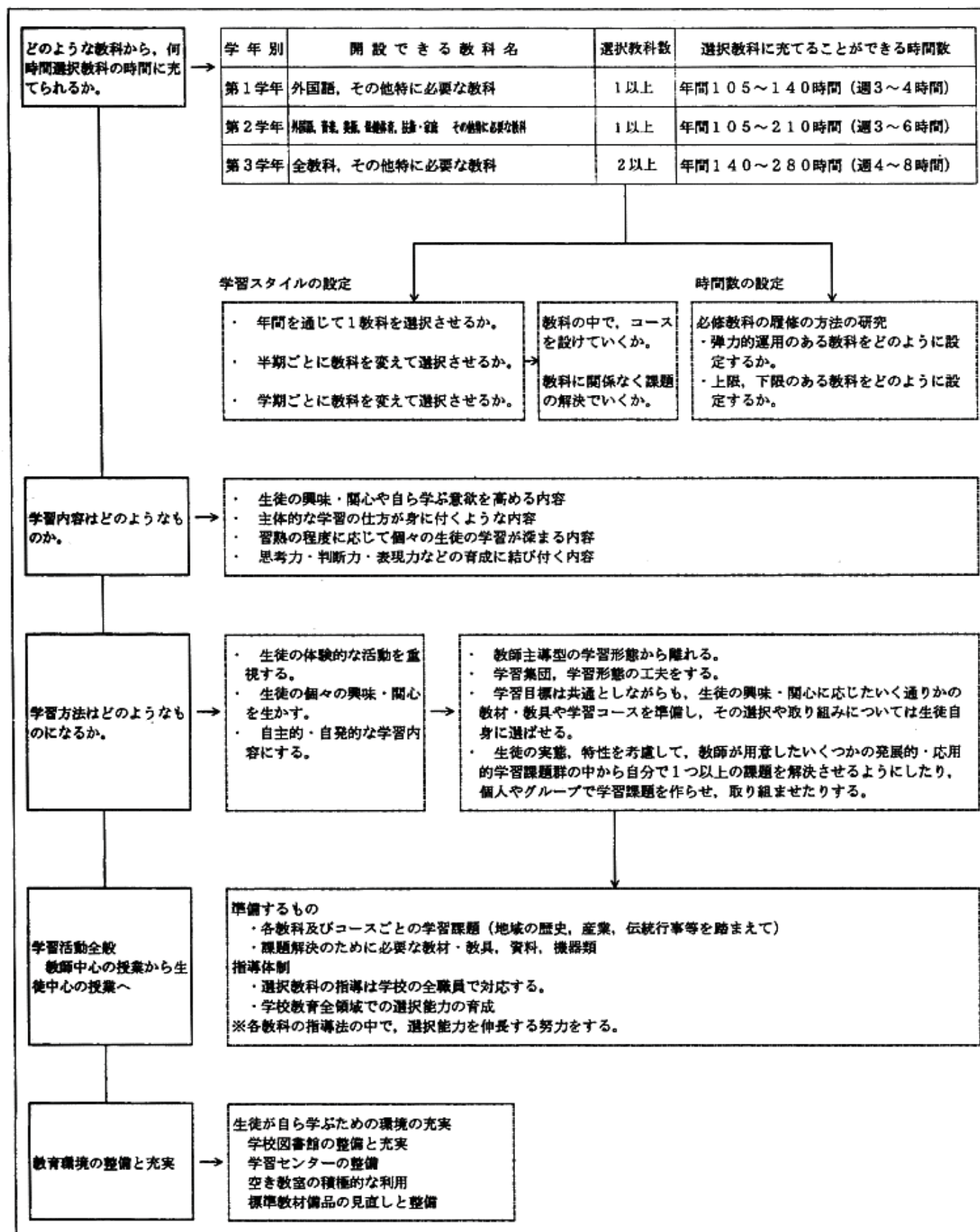
	選択教科の種類	平成4年度	平成5年度
第2学年	教科別	56	18
	教科内コース別	33	65
	コース別	11	17
第3学年	教科別	50	14
	教科内コース別	40	58
	コース別	10	28

第3学年の選択教科の種類についても第2学年と同じようなことが言えるが，また，第3学年の特徴として，第2学年で選択しなかった教科を中心に選択教科を設定している学校が少数ある。これは外国語を除いた選択教科の授業時間を週1時間設定している学校であり，主に国語，社会，数学，理科などの教科を選択している。だが，週1時間の授業時数を設定している学校の中でも第2学年と同じ教科（音楽，美術等）やコースを設定している学校も多い。

4 選択教科開設までの手順

選択教科の開設に向けて表8のような手順で実施しながら研究を進めた。また，選択教科の開設までの計画を表9のようにまとめ，実際に選択教科を実施した。そして，選択教科開設後の計画は表10のように考えて実施した。特に，「選択教科の実施に向けて」では，生徒の希望を生かす選択教科の設定や学習方法の工夫に重点を置き，「開設までの計画」では，生徒及び保護者に意義の徹底を図り，生徒が自己選択できるように説明会等に焦点を定めた。また，「開設後の計画」では，生徒の興味・関心の持続と次年度のための反省と評価に重点を置いた。

表 8 選択教科の実践に向けて



研究概要

表9 選択教科開設までの計画

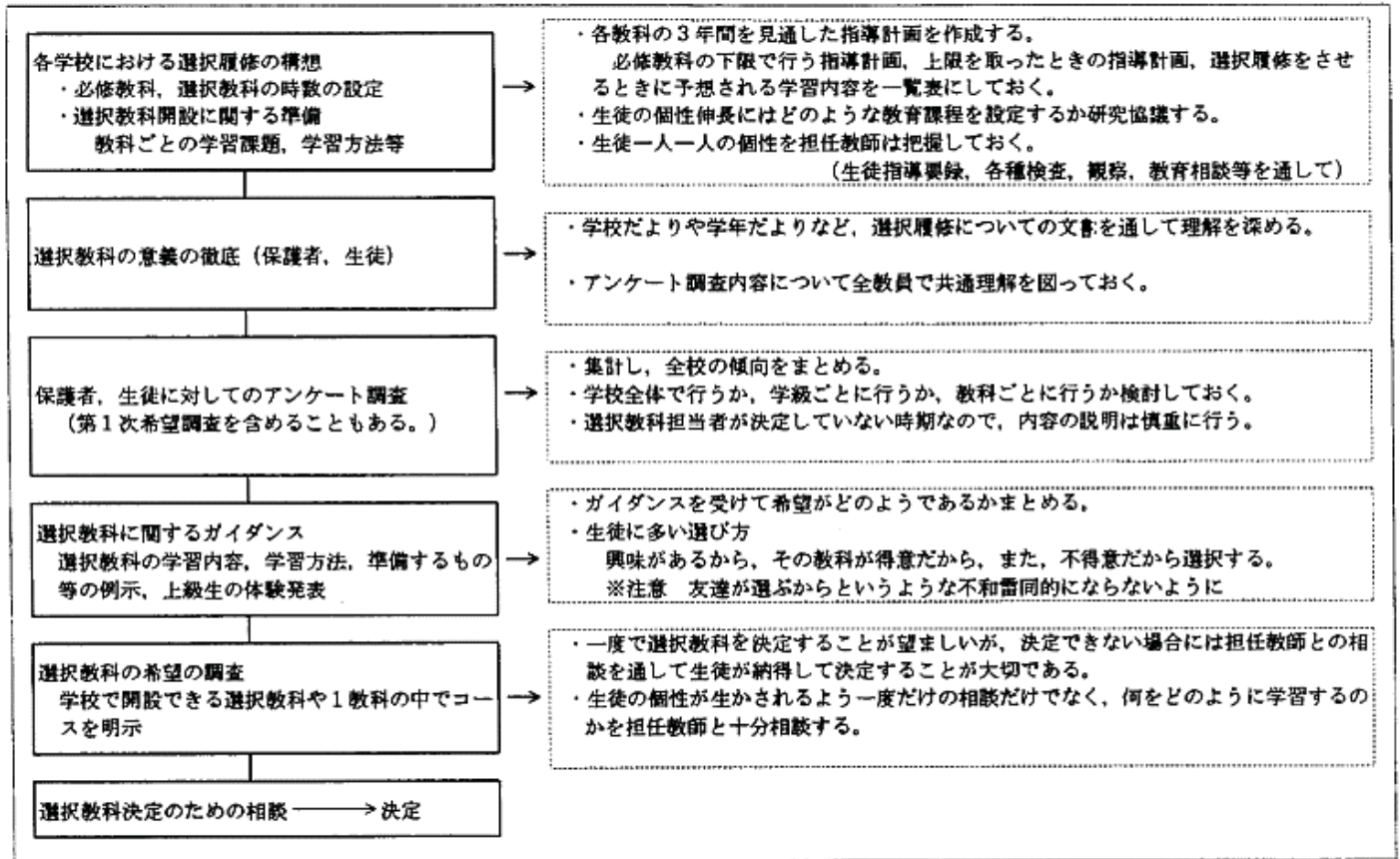


表10 選択教科開設後の計画

